

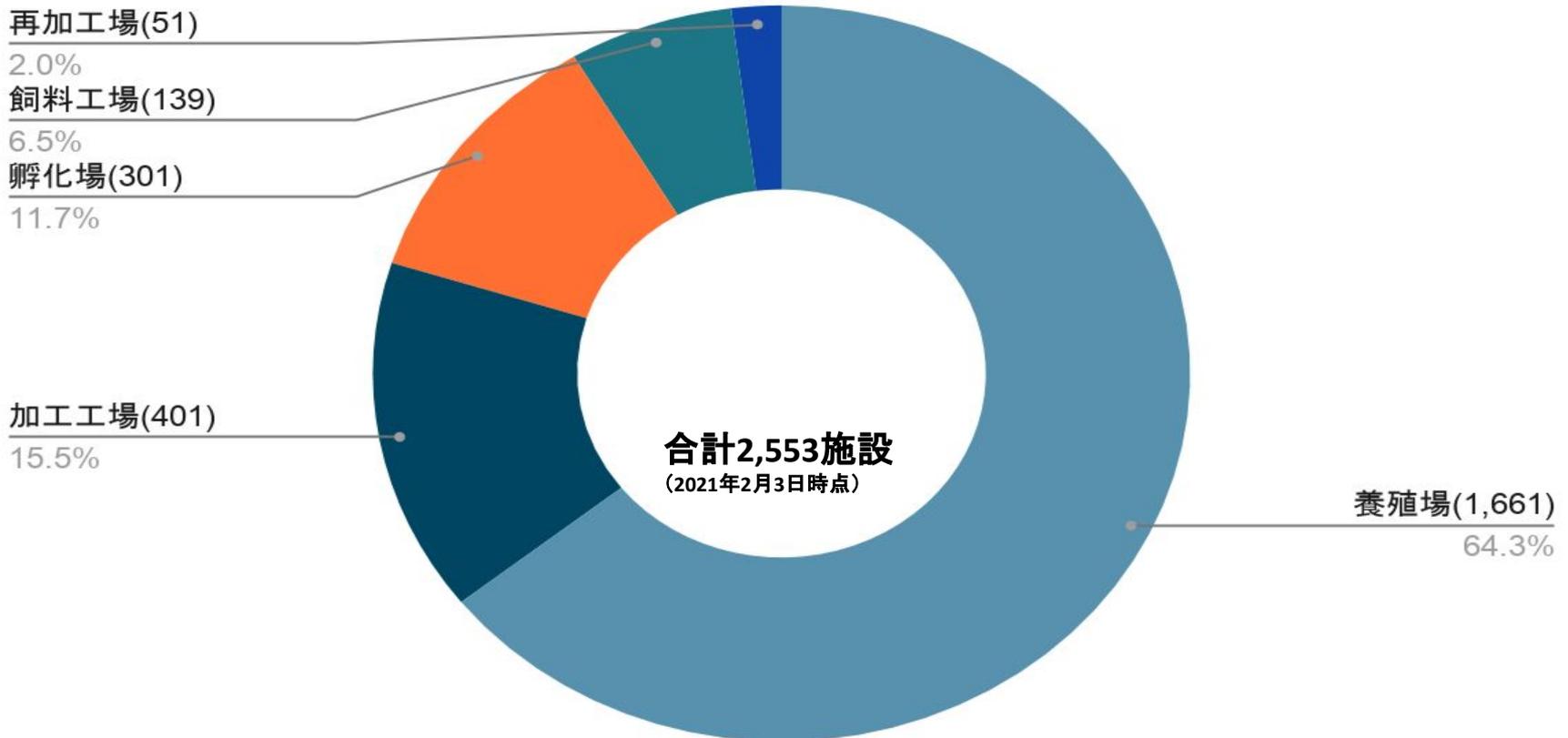
# BAP認証ニュースレター

## 2021年3月



# 世界での認証施設数

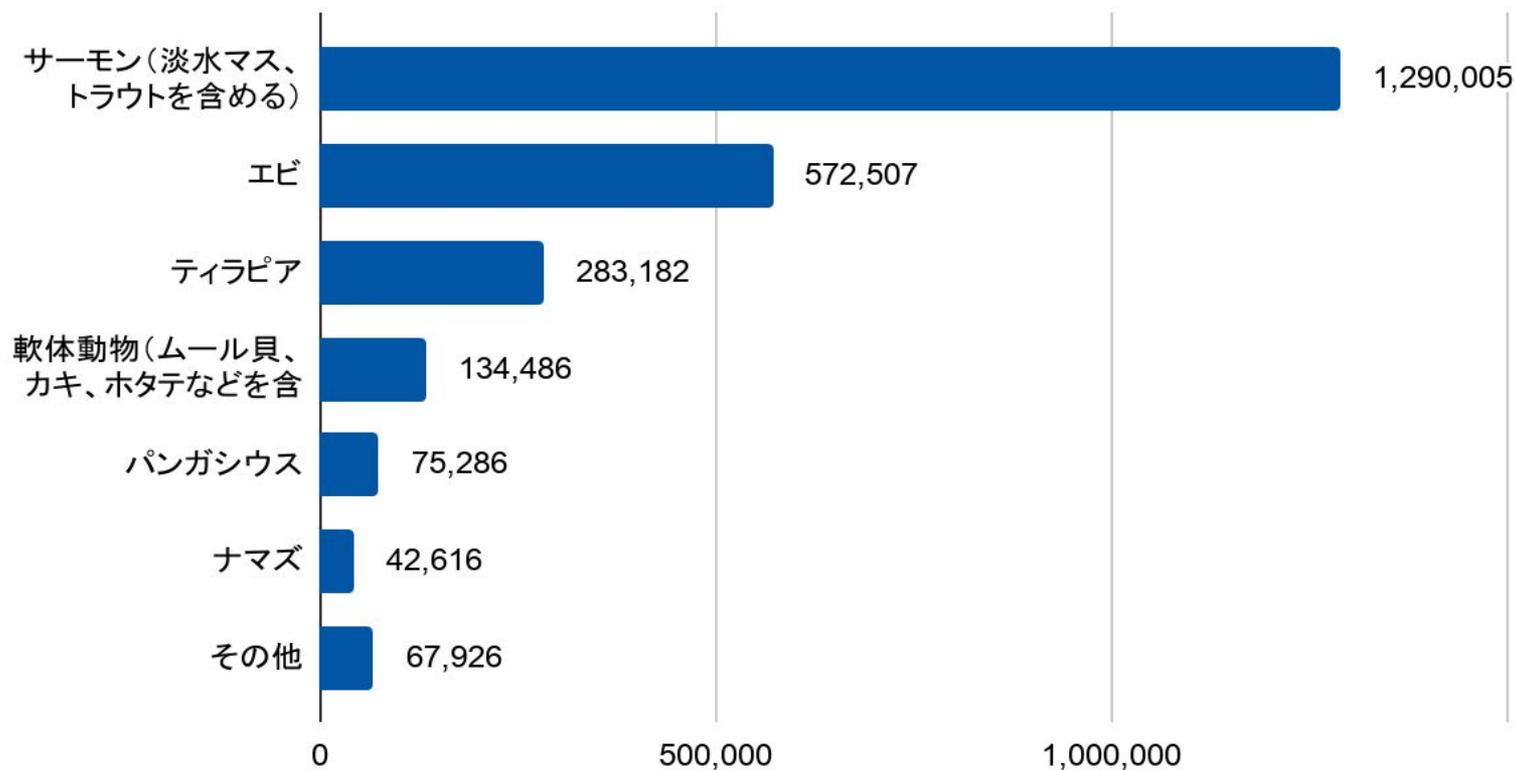
## 世界でのBAP認証施設数(2021年2月3日時点)



2021年2月3日時点、BAP認証施設数は2,533施設です。  
新型コロナウイルスの影響はありますが、大きな落ち込みはありません。

# 魚種別の認証生産量

2021年2月3日時点（単位:トン）



2021年2月3日時点、BAP認証水産物の世界合計は **2,466,008トン** です。  
「その他」にはヨーロッパヘダイ、スギ、モズクガニ、ナマコなど複数魚種が含まれます。

# GOALカンファレンスについて



2001年から開催されているGOALは、年に一度の世界規模の養殖に関するイベントです。昨年新型コロナウイルスの影響から、予定されていた東京での開催を延期し、初のバーチャルでの開催となり800名の方々にご参加を頂きました。2021年のGOALカンファレンスについて、GAAは4月から始まる数回のバーチャルイベントと今年の後半に対面式のイベントをアメリカ、シアトルで開催すると2月15日に発表しました。具体的な日時、会場等は後日発表いたします。

※前述の通り、2021年の開催はバーチャルイベントとシアトルでの開催になり、東京での開催は2022年に延期をされております。

詳しくはGAAウェブサイトBlogページへ

<https://www.aquaculturealliance.org/blog/goal-2021-relaunch/>

# 海外マーケットでの動き



2020年12月にスペインの小売業「MERCADONA」が養殖水産物の調達方針にBAP認証を組み込んだと発表されました。

1977年創業の同社はスペイン国内に1,633店舗と8.1万人の従業員、ポルトガルに16店舗と900人の従業員を擁する同国では最大規模の小売・Eコマース業者です。

同社のYasmina Santos氏は「Mercadonaはサプライチェーンでの養殖水産物の持続可能性を追求する為に、ベストプラクティス、相互学習を共有できる複数の国際的な機関と協働しています。」と述べています。

詳しくはGAAウェブサイトへ

<https://bapcertification.org/blog/mercadona-endorses-bap/>

# Brian Perkins氏の加入について

水産業界に40年の経験を持つベテラン、Brian Perkins氏がCOOとしてGAAに加わることが1月18日にアナウンスされました。

Brian氏は認証やイベント・メディア関係に豊富な経験を有し、直近6年間はMSC(Marine Stewardship Council)認証のアメリカ地域のディレクターとして、認証を普及させるためのチームをつくり、消費者の意識向上や、ラベル付き商品の流通増加やMSC CoC認証の取得を促進してきました。

GAAにおいては主にBAP認証の業務に携わり、マーケット、PI(Program Integrity)の管理をおこないます。養殖に加えて天然へも拡大という素晴らしいタイミングで加入をすることになります。

※2021年内に養殖水産物に関するBAP認証を保有するGAAと、天然水産物に対応するSPS5.0(加工工場基準)、RFVS1.0(船上での乗組員の人権に関する基準)を保有するGSAが統合し1つの組織になる予定です。こちらについては別途お知らせをさせていただきます。



以下はBrian氏のコメントです。

「GAAに加わり、Global Seafood Allianceへの転換をサポート出来る事をとても楽しみにしています。これは天然と養殖の両方の水産物がサプライチェーン上で責任のある方法で生産、取り扱いをされていることを確認する手助けをする事のできるユニークな機会です。水産物は世界の食品ラインにとって重要です。この天然水産物の漁獲と加工における社会的責任の様に保証のギャップを埋めるという概念は、適切なタイミング、アイデアです。私の経験と知識を活用して、持続可能な水産業の発展に貢献できることを楽しみにしています。」

詳しくはGAAウェブサイトへ

<https://www.aquaculturealliance.org/blog/coo-brian-perkins/>

# マーケットとして導入しやすいBAP認証

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象になり年に一度の監査が必要になります。

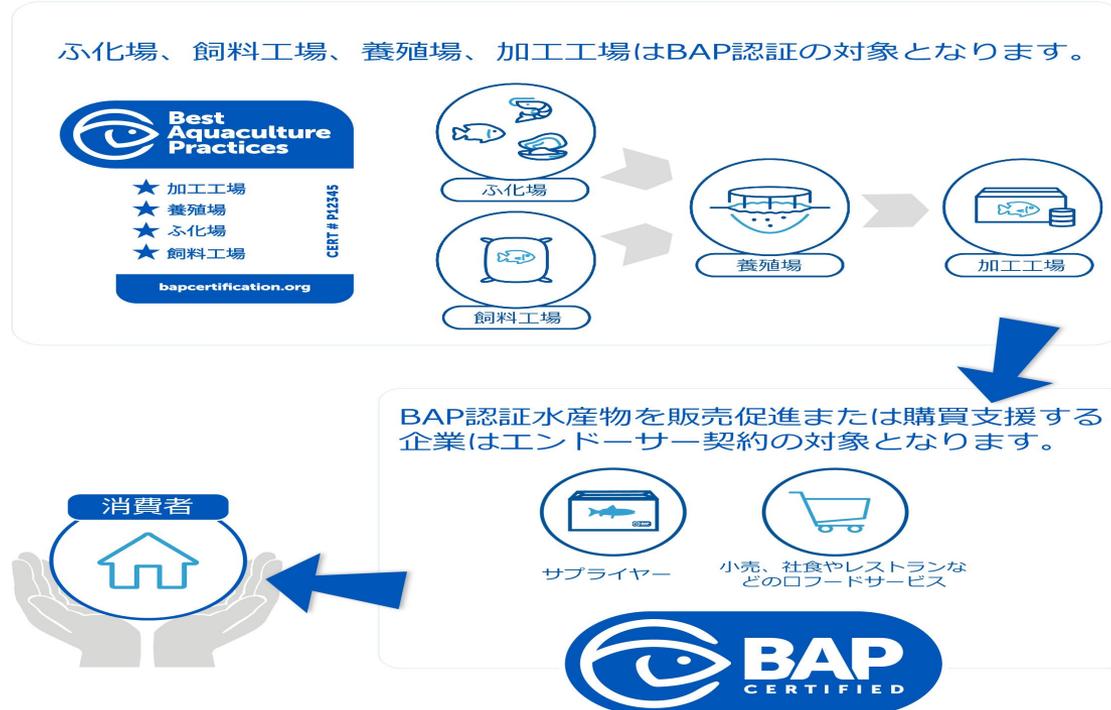
商品の加工が発生しないサプライヤー、小売、社員食堂やレストランなどのフードサービスはエンドーサー合意書の締結のみで無料でBAPロゴの使用やリリース、レポート等での発信が可能になります。

**特例1:** 個別包装された商品を開封、再梱包またはラベルの張り替えをせず、商品の梱包やラベルをそのままの状態での流通する場合はその施設は加工工場認証の取得対象外になり、エンドーサー合意書の締結のみ必要となりBAPロゴ付き商品として、そのまま販売して頂けます。

**特例2:** 最終消費現場での商品の加工、調理、再包装、またラベル張り替えをする場合は加工工場認証の対象外となり、エンドーサー合意書の締結のみでロゴを使用して頂けます。(スーパーのバックヤード加工、飲食店・レストラン・ホテルなどの調理場加工など。)

また、複数の水産物を使用した製品に関して、使用された一部の水産物がBAP認証であれば楕円のロゴマークを使用することができます。可能な限りどの水産物がBAP認証なのかを明記してください。

詳しくは<https://japan.bapcertification.org/Marketing>よりBAP認証ロゴガイドラインをご参照ください。





BAP認証ニュースレターに関する  
お問い合わせは以下までお願い致  
します。

※二次利用をご希望の方はお問い合わせ  
下さいませ。

BAP認証日本マーケット担当  
芝井幸太

メールアドレス：  
[kota.shibai@bapcertification.org](mailto:kota.shibai@bapcertification.org)

電話番号：  
080-2167-0086

BAP認証ウェブサイト  
<https://japan.bapcertification.org/>

※配信停止をご希望の方は、こちらまで「配信停止」とご連絡くださいませ。